

※この投稿規定は汎用版です。投稿論文の提出先や期限については、最新の研究紀要の投稿規定、または学会ウェブサイトのトップページにてご確認ください。あるいは、本部事務局にお問い合わせください。

日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要 投稿規程

1. 『日本児童英語教育学会研究紀要』(JASTEC Journal) は、幼児・児童を対象とする英語教育に関する査読付き学会誌である。
2. 投稿は会員に限る。ただし連名のときは筆頭者のみが会員であればよい。
3. 投稿論文等は未発表のものに限る。ただし投稿する論文の内容が既に口頭発表された研究と同一である場合には、投稿の際にその旨を明記すれば審査対象となる。
4. 論文執筆にあたって実験や調査を行う場合には、対象者や被験者が、何らかの被害や不利益を受けないように、十分に配慮した上で実施しなければならない。また対象者に対しては、実験や調査の趣旨に関する説明を十分に行った上で、実験や調査に参加することについての承諾を事前に得おく必要がある。
5. 投稿に際し、論文の体裁は以下の通りとする。論文体裁に不備がある場合には論文は受理しない。投稿論文は、原則として、**Microsoft Word A4 版で作成し**、フォント種類、サイズについては次の 6、7 に従う。投稿論文の長さは、注・引用文献・資料など全てを含めて、**和文の場合は 12,000 字～16,000 字程度 (A4 版で約 20 頁) 以内とし、英文の場合は 20,000 文字～28,000 文字 (28,000 letters)、もしくは 4,000 語～5,000 語 (5,000 words) 程度 (A4 版で約 15 頁) 以内とする。**ただし、本学会調査研究プロジェクトチームの論文など、編集委員会が特に必要と判断する場合には、それ以上の文字数になることを許可することもある。
6. 投稿論文の表題は日本語と英語の両方でつける。日本語の論文の場合には、日本語の表題 (太字 14pt) の下に英文の表題 (12pt) をつけ、英語の論文の場合には、英語の表題 (太字 14pt) の下に日本語の表題 (12pt) をつける。
7. 本文の文字のフォントについては、日本語は **MS 明朝体**、英語は **Century** を用いる。フォントサイズはいずれも **10.5 pt** とする。
8. 算用数字については、**半角のアラビア数字** (例: 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9) を用いる。
9. 必要に応じて図と表を用いることができるが、それぞれの表と図に、表題と通し番号をつける。なお、表については表の上に表題をつけ、図については図の下に表題をつける。
10. 必要に応じて本文のほかに、注、引用文献、資料をつけることができるが、それぞれは本文→注→引用文献→資料、の順で記入する。注については、本文中の注を付す部分に **1, 2, 3, ...** の数字を上付き文字でつける (例: 外国語活動¹)。なお、注は必ず本文の該当部分と一致させること。
11. 上記 5 の文字数には、図、表、注、引用文献、資料等の全てが含まれる。

12. 投稿論文は以下の書式にしたがってフォーマットすること。
1行あたりの文字数：全角で40文字、半角で80文字
1ページあたりの行数：36行
余白：上35mm、下30mm、左30mm、右30mm
13. 日本語の句読点は、「,」と「。」を用いる。
14. 各章には以下の要領で、太字（ボールド）・半角で番号を付す。
1.
1.1.
1.1.1.
(1)
(2)
15. 文章、図、表、等を引用する際に、著作権に関する手続きが必要な場合には、執筆者の責任において適切な手続きをした上で引用しなければならない。
16. 投稿原稿には、ページ番号挿入機能を用いて、各ページの上部・右側にページ番号をつける。
17. 以下の点については、APAの様式に従うことを原則とする。
・本文中の引用方法
・統計結果の記述の方法
・引用文献の表記方法（次項を参照されたい）
18. 引用文献の筆記方法については、英文の場合にはAPA（American Psychological Association）の様式（Publication Manual of the American Psychological Association. 6th edition. 日本語版：『APA論文作成マニュアル』（第2版）医学書院）に準拠し、以下の通りを行う。
(1) 引用文献は、日本語のものと英語のものをまとめてアルファベット順に記載する。英語の場合はAPAフォーマットに従う。
(2) 筆署名は、日本語の場合も英語の場合も、姓、名の順に記し、アルファベット順に列挙する。英語の場合は、姓の後にコンマを打ち、名を頭文字のみで記入しピリオドを打つ。
(3) 出版年は、筆署名の直後に、半角の（ ）で囲んで記入する。なお、半角の（ ）の直後にはピリオドを打つ。
(4) 日本語の論文名は「 」で囲んで記入する。
(5) 日本語の書籍名は『 』で囲んで記入し、次に出版社の所在地と出版社名を記入する。
(6) 日本語の雑誌名は『 』で囲んで記入し、次に巻数や号数等を記入する。
(7) 英語の論文名は括弧等をつけずに記入する。
(8) 英語の書籍名は斜字体で記入し、次に出版社の所在地と出版社名を記入する。
(9) 英語の雑誌名は斜字体で記入し、次に巻数や号数等を斜字体で記入する。
(10) ページ数は45-56. など数字のみを記入し、最後にピリオドを打つ。
(11) 英語の主題（副題）の大文字と小文字については、論文の主題（副題）・書籍の主題（副題）とも最初の単語だけを大文字で書き始め、そのあとの単語は小文字で書き始める。ただし、英語のjournal類については、全ての単語を大文字で書き始める。
(12) 同一著者による同年の出版物については、a, b を付す。例：山田太郎(1978a)
(13) 同一著者名を記入する場合には —— を用いず、その名前を記載する。
(14) 新聞を引用する場合には、新聞の名称と日付を記入する。
(15) インターネット上のホームページを引用した場合には、①ホームページ名、②ホームページのURL(Uniform resource locator) を記入する。URLの下に、線は引かない。

(16) 1名または2名以上の編者によって編集された著書の場合には、編者名のあとに(編)を付す。なお英語の場合には、編者が1名の場合には(Ed.)、2名以上の場合には(Eds.)を、編者名のあとに付す。

(17) 引用文献に関する具体的な表記方法については、以下の例を参照のこと。

[例]

Ellis, R. (1985a). Sources of variability in interlanguage. *Applied Linguistics*, 6, 118-131.

Ellis, R. (1985b). *Understanding second language acquisition*. Oxford: Oxford University Press.

後藤典彦 (1999). 「横浜市立小学校『国際理解教室』の現在: 『総合学習』への扉は開かれた」『英語教育』10月号, 26-29.

樋口忠彦他 (編) (2005). 『これからの小学校英語教育—理論と実践』東京: 研究社.

Lantolf, J. P., & Appel, G. (Eds.) (1994). *Vygotskian approaches to second language research*. Norwood, NJ: Ablex Publishing Corporation.

松川禮子 (2004). 『明日の小学校英語教育を拓く』東京: アプリコット.

Meskill, C. J., Mossop, S., DiAngelo, R., & Pasquale, K. (2002). Expert and novice teachers talking technology: Precepts, concepts and misconcepts. *Language Learning and Technology*, 6, 46-57. Retrieved from <http://ilt.msu.edu.vol6num3/meskill/default.html>

文部科学省 (2013). 「平成24年度『国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策』に係る状況調査」の結果について」http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332638.htm

天満美智子 (訳) (1972). 『外国語習得のスキル』東京: 研究社.]

Yashima, T. (2000). Orientations and motivation in foreign language learning: A study of Japanese college students. *JACET Bulletin*, 31, 121-133.

Rivers, W. M. (1968). *Teaching foreign-languages skills*. Chicago: University of Chicago Press.

Yashima, T. (2000). Orientations and motivation in foreign language learning: A study of Japanese college students. *JACET Bulletin*, 31, 121-133.

(18) doi 番号については、記載しなくてもよい。

19. 原稿の審査、採否、原稿の種類(カテゴリー)の最終決定および掲載の時期は編集委員会が決定する。
20. 紀要の原稿の種類(カテゴリー)は、「学術論文」「学術研究資料」「実践報告と提言」のいずれかとする。「学術論文」(Articles)は、学術的に意義のある研究論文である。「学術研究資料」(Research Notes)は、英語教育の研究活動に役立つ調査内容を資料として提供するものとする。「実践報告と提言」(Practical Studies and Proposals)とは、教師が授業改善のためによいと考える方法を実践し、その結果を記述し、考察するものとする。
21. 原稿は採否にかかわらず返却しない。
22. 原稿料は支払わない。
23. 採用論文等の執筆者には抜き刷りを、予算に応じて贈呈する。
24. 校正については、初校は執筆者が行うが、この際の校正加筆は、原則として植字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する加筆修正は認められない。

25. 投稿に際しては、以下の要領で投稿すること。

- (1) 投稿論文を E-mail に添付し、編集委員長のアドレスに送付する。
- (2) E-mail の件名は「JASTEC 研究紀要第〇〇号投稿論文」とする。
- (3) **投稿の期限は、各号で定められた期日の 20:00 とする。**
期限を過ぎたものは、一切受理しない。
- (4) 提出するものは以下の通りである。
 - ・完成原稿 (Word)
 - ・査読用原稿 (Word) * 執筆者の情報を XXXX に置き換えること
 - ・査読用原稿 (PDF) * 執筆者の情報を XXXX に置き換えること
- (5) 編集委員長が投稿論文を受理した場合には、(編集委員長が投稿者に) 返信のメールを直ちに送る。受理した旨の返信メールが届かない場合には、上記まで連絡し、投稿論文の受理状況を確認すること。
- (6) 希望審査希望区分を「**学術論文**」, 「**学術研究資料**」, 「**実践報告と提言**」の3つのカテゴリから必ず1つ選び、論文の1頁目右上に表記すること。ない場合は受理しない。
- (7) 印刷原稿のやり取りをするので、投稿者(もしくは代表者)の送付先住所、所属先、宛名、メールアドレス、電話番号は、連絡が確実に取れるものを記入のこと。
- (8) 口頭発表の有無について、メールで申告すること。

※この投稿規定は汎用版です。投稿論文の提出先や期限については、最新の研究紀要の投稿規定、または学会ウェブサイトのトップページにてご確認ください。あるいは、本部事務局にお問い合わせください。